

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2026 年 5 月 4 日 12 : 30
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
能代科技	<table border="1"> <tr><td>19 1st 34</td></tr> <tr><td>13 2nd 31</td></tr> <tr><td>16 3rd 32</td></tr> <tr><td>18 4th 31</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	19 1st 34	13 2nd 31	16 3rd 32	18 4th 31	0 T	東 山
19 1st 34							
13 2nd 31							
16 3rd 32							
18 4th 31							
0 T							
66 ●		128 ○					

主審:Crew chief
村上 智志 山形
副審:Umpire
山中 沙織 福島
新山 亮祐 青森
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県TO委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F										
0	×	松田 来翔	cap	2	0	1	0	2	4	／	鈴木 勇功		10	0	5	0	0										
4	／	金 隼輝		4	0	2	0	3	5	／	中村 颯斗	cap	6	1	1	1	0										
8	／	下田 瑛斗		0	0	0	0	0	6	／	大森 来玖		13	1	5	0	1										
9	／	黒澤 啓太		3	1	0	0	1	7	×	新井 伸之助		4	0	2	0	0										
12	／	大嶋 遥佳		10	2	2	0	1	8	×	佐藤 久遠		16	2	5	0	1										
13	×	信太 虹輝		17	3	4	0	2	9	×	エトウ プ ワンヤ エノック		17	0	8	1	1										
15	×	岸部 瑛大		2	0	1	0	0	10	×	香月 遥斗		10	0	4	2	0										
17	×	熊澤 隼		9	2	1	1	0	11	／	峰崎 仁		4	0	2	0	2										
18	×	永井 瑛都		4	0	1	2	1	12	／	野呂田 桜輔		5	0	2	1	2										
22	／	鈴木 秀哉		0	0	0	0	0	13	×	吉本 拓司		5	1	1	0	0										
25	／	大倉 悠暉		6	0	3	0	0	14	／	八重樫 志温		7	1	2	0	2										
32	／	阿部 颯唯		5	0	2	1	2	15	／	ゼンザ マワ クレド		20	0	10	0	0										
34	／	畠山 蒼馬		4	0	2	0	0	16	／	伊藤 凪		11	1	3	2	1										
44		工藤 祥		-	-	-	-	0																			
64		倉持 駿成		-	-	-	-	0																			
コーチ 長谷川 聡									0																		
Aコーチ 遠田 貴大									0																		
合計									66	8	19	4	12	合計									128	7	50	7	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	17	25.76%	信太 虹輝	1	20	15.63%	ゼンザ マワ クレド
2	10	15.15%	大嶋 遥佳	2	17	13.28%	エトウ プ ワンヤ エノック
3	9	13.64%	熊澤 隼	3	16	12.50%	佐藤 久遠

Score ranking[Game]

1	20	ゼンザ マワ クレド	東 山	2	17	信太 虹輝	能代科技	2	17	エトウ プ ワンヤ エノック	東 山
---	----	------------	-----	---	----	-------	------	---	----	----------------	-----

地元能代バスケットファンの大声援を背に能代科技がここまで全勝の強豪・東山に挑む。

1Q、序盤から互いに激しいフルコートマンツーマンプレスの応酬で会場は熱気に包まれる。今大会屈指のディフェンス力を誇る東山に能代科技は伝統の速攻で果敢に食い下がる。5分を過ぎたあたりから東山は#10香月の3Pを含む連続得点などでじりじりと能代科技を突き放す。19-34で1Q終了。

2Q、メンバーを入れ替えた能代科技は#34畠山のドライブや#13信太のジャンプショットで挽回を図る。両チームともにミスが目立ちなかなかリズムを掴むことができず、高さとスピードで勝る東山が#15クレドのゴール下などで着実に得点を重ねると流れは一気に東山に傾く。能代科技はシュートまでは漕ぎつけるが単発に終わり、逆に東山に速攻を食らう悪循環に陥る。32-65で前半終了。

3Q、メンバーを1Qに戻した能代科技は#13信太を中心とした3P攻勢で追いつく。しかし高さで圧倒する東山にペイントエリア内を支配されて得点を許してしまい、東山大量リードとなる。48-97で3Q終了。

4Q、高さに加えて激しくフルコートで当たる東山に能代科技は為す術なくターンオーバーを繰り返し、シュートを打つ隙すら与えてもらえない。全てにおいて東山の力が上回っており、66-128で東山がまざまざとその実力を見せつけた。

敗れはしたが能代科技1年生の#18永井には確かな将来性を感じた。今後の活躍に期待したい。